

【記入例】

蕨市立小・中学校「小中連携型CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

【中学校卒業時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒。
(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

【中学校 第3学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、クラスメートの経験などについて、自分なじみのない話であっても、必要な情報や概要を聞き取ることができる。	クラスメートの経験や、社会的な話題などについて、自分の感想や考えを述べられるように、必要な情報を読み取ることができる。	自分やクラスメートの経験などについて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	自分の興味のあることなどについて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて (即興で) 話すことができる。	自分の経験などについて、具体例や感想などを加えて、まとまりのある文を書くことができる。(～80語程度)
はっきりと話されれば、海外の文化紹介や、社会的な話題についてのニュースなどを聞いて、概要や要点を捉えることができる。	日本や海外の文化、社会的な話題などについて、イラストや写真、図表なども参考にしながら、文章の概要を捉えることができる。	日本や海外の文化などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日本や海外の文化などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、様々な情報を加えながら紹介することができる。	日本や海外の文化などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文章構成を意識したまとまりのある文章を書くことができる。(～80語程度)
はっきりと話されれば、生徒にとって身近で多様な考えが話題に関して、ディスカッションやディベートでの相手の主張の概要や要点を捉えることができる。	社会的な話題についての記事や説明文などを読み、内容を整理しながら、文章の要点を捉えることができる。	生徒にとって身近で多様な考えが話題に関して、自分の考えや賛成・反対の意見、その理由などを述べ合うことができる。	生徒にとって身近で多様な考えが話題に関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を発表することができる。	生徒にとって身近で多様な考えが話題に関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を書くことができる。(～80語程度)

【中学校 第2学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、クラスメートの予定や将来の夢などについての短いスピーチなどを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	クラスメートの予定や将来の夢など日常的な話題について～350語程度で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	自分の予定や将来の夢などについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	自分の予定や将来の夢などについて、意見や理由を加えてつなぐりのある短い文章を正確に書くことができる。
はっきりと話されれば、クラスで人気のあるものなどについての短いスピーチなどを聞いて、話の概要を捉えることができる。	クラスメートが書いたポスターやまとまりのある物語などを読んで、その概要を捉えることができる。	クラスで人気のあるものなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	クラスで人気のあるものなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	お礼の手紙やクラスで人気のあるものなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(～60語程度)
はっきりと話されれば、町のおすすめの場所などについての短いスピーチを聞いて、その要点を捉えることができる。	クラスメートの町紹介やまとまりのある説明文などを読んで、その要点を捉えることができる。	自分やクラスメートの町のおすすめの場所などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	自分やクラスメートの町のおすすめの場所などについて、自分の意見や理由を加えて発表することができる。	自分の町のおすすめの場所などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。(～60語程度)

【中学校 第1学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、好きなことや日常的にしていることについての短いスピーチなどを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	好きなことや日常的にしていることについて書かれた自己紹介ポスターなどを読んで、必要な情報を読み取ることができる。	自分が好きなことや日常的にしていることについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。	自分が好きなことや日常的にしていることについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	自分が好きなことや日常的にしていることについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
はっきりと話されれば、身近な人や有名人について、話の概要を捉えることができる。	有名人や身近な話題についての紹介文などを読んで、その概要を捉えることができる。	身近な人や有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	身近な人や有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	身近な人や有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(～40語程度)
はっきりと話されれば、体験したことやその感想などのスピーチを聞いて、その要点を捉えることができる。	物語や体験談などのつなぐりのある文章を読んで、その要点を捉えることができる。	自分やクラスメートが体験したことやその感想について、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	自分が体験したことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	自分が体験したことやその感想などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。(～40語程度)

【小学校卒業時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身に付けた児童。
(1) 外国語の音声や語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

【小学校 第6学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	・活字体で書かれたアルファベットの大字と小文字を識別し、その読み方を発音することができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	・基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。 ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。 ・自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ・自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	・アルファベットの大字と小文字を活字体で書くことができる。 ・語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 ・自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

【小学校 第5学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	・活字体で書かれたアルファベットの大字を識別し、その読み方を発音することができる。	・基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。 ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。 ・自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ・自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	・アルファベットの大字を活字体で書くことができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

【小学校 4年生修了時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を身に付けた児童。
(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くことができる。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

【小学校 第4学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かる。 ・アルファベットの大字と小文字について、文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる。		・基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。 ・自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。 ・サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	

【小学校 第3学年】領域別の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取る。 ・アルファベットの大字について、文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる。		・基本的な表現を用いて、挨拶したり感謝の気持ちを伝えたりそれらに応じたりする。 ・サポートを受けて、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。 ・サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。	自分のことや身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	

【様式】

〇〇小学校－〇〇中学校「小中連携型CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

【中学校卒業時の学習到達目標】

--

【中学校 第3学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



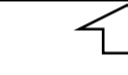
【中学校 第2学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



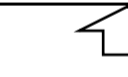
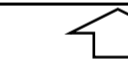
【中学校 第1学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



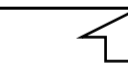
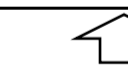
【小学校 第6学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



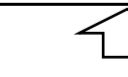
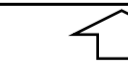
【小学校 第5学年】の学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



【小学校 第4学年】の学習目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと



【小学校 第3学年】の学習目標

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと